



フードバンクかながわ 通信 67号

「もったいない」を「わかちあい」・「ありがとう」へ

2024.6

＜トピックス＞ たくさんの団体や、個人の方から食品を寄贈いただいておりますが、提供団体からのリクエスト量が上回り、とうとう5月の最終週にお米や調味料が足りなくなりました。皆さまからの寄付金を活用し、不足分を購入させていただきます。

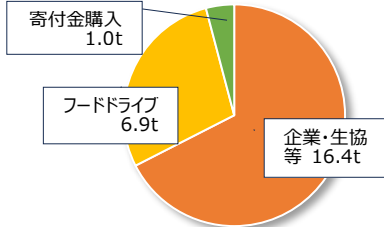
Facebook もご覧ください→



＜5月の数字＞

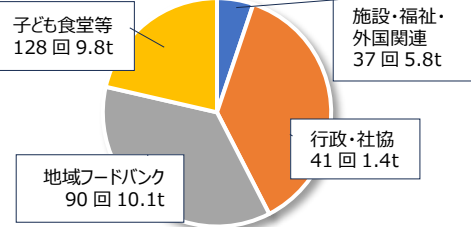
寄贈食品計 24.3 トン

(前年比 86.5% 前月比 98.4%)



提供食品計 296回 27.1 トン

(前年比 95.8% 前月比 95.1%)



ボランティア参加：のべ63人

学習・体験会参加：8団体 99人

＜今年度累計＞

寄贈食品計 49.0 トン (前年比 103.2%)

提供食品計 600回 55.6 トン (前年比 105.9%)

DATA

フードドライブ回収拠点 339 か所

賛助会員・寄付状況

団体会員 228 団体 754 万円
 個人会員 322 人 190.5 万円
 2024 年度寄付額 1,055,587 円
 開設からの累計寄付額 90,942,417 円

合意書締結団体

寄贈締結 298 団体
 提供締結 378 団体
 行政・社協 63 団体
 市民団体 315 団体

「ありがとうの声」をご紹介します

■フードバンクかながわが提供する食品を活用している地域の支援団体より

フードパントリー(食品配付)の新規利用が毎月増えており、3月からは月2回開催することとしました。利用する方の状況はさまざまのようですが、少しでも日々の生活が安心できるようにお手伝いできればと活動しています。



月1回の多世代食堂では温かい食事を提供していますが、カレーをたくさんいただき、大変助かっています。(ホームタウンみなみ Minnade)

■地域の団体を通じて食品を受け取った方々より

- ♥ 育ち盛りの子どもたちにはお米がいくらあっても足りません。そんな中、お米・お菓子などを提供くださり、感謝です！
- ♥ お米が重くて買いに行けないときにお米をいただきました。高齢で膝が痛くて困っているため、大変助かりました。
- ♥ 母子家庭で安定した仕事が見つからず、これまで掛け持ちパートで大変だったので、正社員になりたいと休職中です。物価高騰で生活費が足りない中、たくさん物資をもらえてうれしかった、大切に使います。

【報告】 休眠預金等活用助成事業【緊急枠】がスタート

フードバンクかながわと NPO 法人報徳食品支援センターによる共同事業が、休眠預金等活用法(※)に基づく「2023 年度資金配分団体」に採択されました。本制度を活用し、神奈川県およびその周辺の、食支援を必要とする人への冷凍食品の提供拡大を、実行団体とともに目指します。同時に冷凍食品のメニュー開発などソフト面での普及推進にも取り組みます。実行団体は、外部審査員の厳正な審査により、下記5団体を選定しました。助成額は5団体計8,000万円です。



- 認定 NPO 法人 ぐるーぷ藤(神奈川県藤沢市)
- 一般社団法人 日本ショーファー協会(さいたま市中央区)
- 特定非営利活動法人 フードバンク TAMA(東京都日野市)
- NPO 法人 スマイルネットありがとう(群馬県邑楽郡)
- 認定特定非営利活動法人 フードバンク山梨(山梨県南アルプス市)

現在のフードバンクの仕組みでは生鮮品の取り扱いが困難ですが、冷凍食品は肉・魚・野菜等バラエティに富み、栄養バランスの向上を期待できる上、余剰も定期的に発生し、供給余力が十分にあります。今年度、各団体とこの取り組みを進め、冷凍食品のコールドチェーン(物流・保管機能)の強化・充実を図ることで、県内外で冷凍食品を扱える中規模のフードバンク・団体の自立を目指します。

※休眠預金等活用法とは…2009年1月1日以降10年以上入出金のない預金等(休眠預金等)を社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する制度。2019年度よりスタート。

5月の寄贈団体

- 事業者寄贈 14 団体 (敬称略)
マルハニチロ、コカ・コーラボラゼーション、パルシステム神奈川、NEC 玉川事業所、アンリツ労働組合、ユーコープ、ニコニコ、リゾートトラスト、山崎製パン、ミツハシ、そうてつローゼン、茅ヶ崎市、相鉄、カビー、エージェ
- 防災備蓄品 3 団体
富士フィルムビジネスソリューション、横浜高速鉄道、神奈川県
- フードドライブ 37 団体
イトーヨーカドー、そうてつローゼン、無印良品、コンチネンタル・オートモーティブ、逗子市防災安全課、保土ヶ谷区社協、マイクロンメモリアン、湘南労協、学生ボランティア連合×スズキヤ、川崎労協、日本赤十字社、スズキ自販湘南、小田原・足柄地域労協、高島屋、西湘地域労協、大塚商会、連合本部、JA さがみ、横浜労協、イオン、情報労連、県中央労協、ワークピア横浜、auPAY マーケットダイレクト店、神奈川県信用農業協同組合、神奈川県庁、フードバンク横浜、JFE スチール労組、安全輸送、金泉寺、日本生命保険相互会社、神奈川トヨタ、神奈川ユニセフ協会、東京炭酸、おルタ新横浜、ユーコープ、パルシステム、生活クラブ

5月の提供先

- 行政・社協・委託 12 団体 (敬称略)
横浜市・区社協、横須賀市、海老名市、相模原市、藤沢市社協、綾瀬市社協、厚木市、茅ヶ崎市、平塚市社協、二宮町社協、川崎市社協、小田原市
- 地域のフードバンク 46 団体
セカンドリーグ神奈川、FB ふじさわ、川崎医療生協、くろーばーマーケット、FB 浜っ子南、お福分けの会、フードバンクかまくら、神奈川フードバンク・プラス、ホームタウンみなみ、ビーバーリンク@金沢、フードコミュニティ、チームやどりき、多摩区応援プロジェクト、ユナイテッドかながわ、マモリヤ、さくらの森・親子サポートネット、さろんど、日本ショーファー協会、ほか
- 子ども食堂居場所等 95 団体
よこすかなかながや、金沢子ども食堂すくすく、キッズカフェ杉田、横浜市立大学、ひまわり、育ち合い広場てとてと、スペースナナ、SISA、横浜みどりの学校ひまわり、アフリカヘリテージコミュニティ、湘南まぜこぜ計画、かみつるまわりり食堂、満福うえのまち食堂、ばくばく食堂、かえでこども食堂、横浜まじろイェイティブ、みんなの1色こども食堂、となりのれすとらん、こども食堂ハッピーほか
- 福祉・病院・外国関係 20 団体
スマイルネットありがとう、ブラジル Solidario、カラー、街カフェ大倉山ミエル、国際交流支援 B.P、街カフェ大倉山ミエル、かながわ外国人住まいのサポートセンター、たすけあいゆいほか

5月のフードバンク

**ボランティア
募集中**

修学旅行の中学生や取材に来た高校・大学生（＝SDGs活動の一環）をはじめ、たくさんの方が学習会や仕分け体験に来てくれています。そこでボランティアの皆さんにご意見をいただき、一緒に棚の表示を一新しました。わかりやすくなったと好評です！さて、今の時期は毎年、倉庫が品薄状態になります。今年も食品棚がスカスカしてきました。引き続き、フードドライブ・食品寄贈へご協力のほど、よろしくお願いいたします。



フードバンクかながわ
ホームページ

フードドライブ品寄贈



Micron メモリジャパン様



学生ボランティア連合×スズキ様



神奈川トヨタ自動車様



川崎労協様



情報労連様

メーカー寄贈



カルビー様

備蓄品の寄贈



日本赤十字様



逗子市防災安全課様

体験研修

小牧市立桃陵中学校の皆様



お米の寄贈



(株)スズキ販売湘南様

JA 信連の皆様



JFE スチール労組 OB 会の皆様



JFE スチール労組の皆様



横浜国立大の皆様



【メッセージ】 学習・体験会に参加して公益財団法人横浜 YMCA 横須賀学院小学校キッズスクエア 神尾桃子さん

横須賀学院小学校ではフードドライブに取り組んでいます。しかし集められた食品がどのようにして人々へと届くのか、子ども達にとって不透明なものでした。今回フードバンクかながわで耳にしたこと・目にしたこと・体験したこと、これらが子ども達の意識を少しずつ変えています。

フードバンクかながわには私たちの想像以上に多くの食品寄贈があり、それら一つ一つを手作業で仕分けをする体験、そしてお米の小分け・袋詰めをさせていただきました。子ども達は体験を始める前のお話が印象的だったと言います。「横須賀市の人口は約40万人、一人1粒のお米を残すと約40万粒のお米が無駄になってしまう」この言葉に子ども達は「食品ロス」が身近なものであると危機感を覚えたようです。

「これは主食だからこっちに分ける！」「これは賞味期限がまだ大丈夫！」と自身が取り組みの一員になれたと誇らし気な子ども達。小さな学びが意識を変え、小さな力が大きな優しさへと変えられる可能性を子ども達だけではなく私達大人も体感しました。私たちはフードドライブの取り組みを続けるだけでなく、この学びを多くの人へ発信し「小さな力」を集める発信源になりたいと思います。

